

3 既存施設のリノベーションで市民に安心を

豊岡支所南側の書庫棟を改修して活用

現豊岡支所庁舎は、耐震性能（ランク2）が課題となっていたことから、利用者及び職員の安全安心のために、敷地の南側にある書庫棟を改修して活用します。

1 移転先を書庫棟に決定した理由

① 必要な面積の確保と既存施設の有効活用

新たな場所への新築、現支所庁舎の改修、旧防災庁舎（現豊岡図書館）へ移転など、様々な可能性を検討しましたが、必要面積の確保や事業費、既存施設の有効活用などを総合的に判断し、耐震性能を有しながらも利用率の低い書庫棟のリノベーションをすることにしました。

② 迅速な整備が可能

日常的な利用率が低い既存施設のリノベーションであるため、迅速に整備が始めることができるとともに、書庫棟の基礎と鉄骨を再利用することでコストの縮減と工期の短縮が図れ、令和6年度には新たな場所での執務が可能となります。

③市民サービスの影響が最小限

現庁舎で通常通り執務を行いながら工事を進めるため、支所での行政サービスに影響はないだけでなく、現庁舎内にある図書館や地域包括支援センター、シルバー人材センターにも影響がなく、市民サービスの停止や混乱を回避することができます。

2 今後の予定

- 令和4年 6月 : 工事設計
- 令和5年 4月 : 書庫棟改修工事
- 令和6年 3月 : 改修工事完了予定